



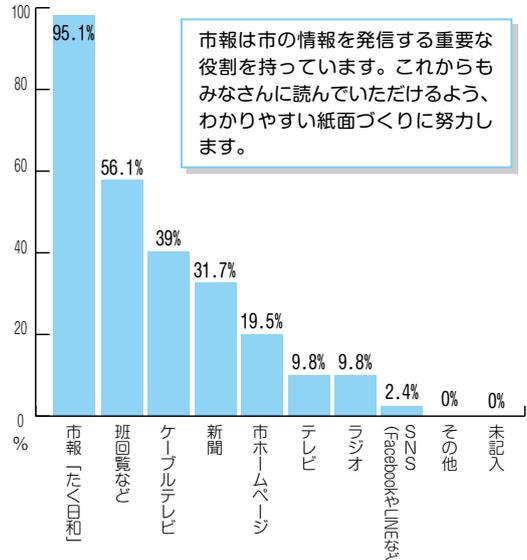
「広報」に関するアンケート調査 ご協力ありがとうございました！

市報9月号で、多久市「広報」に関するアンケート調査を実施し、41人から回答をいただきました。みなさんからの貴重な意見を参考に、今後もより充実した広報活動に取り組んでいきます。

お知らせ

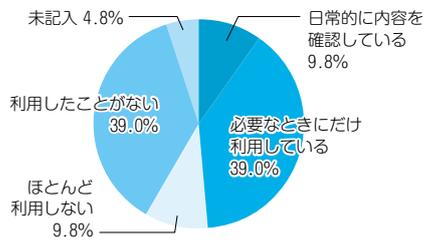
■多久市の情報やお知らせ等の入手方法（複数回答可）

※複数回答可としているため総回答者数を分母に割合（%）を算出



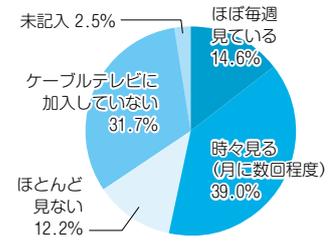
市報は市の情報を発信する重要な役割を持っています。これからもみなさんに読んでいただけるよう、わかりやすい紙面づくりに努力します。

■多久市ホームページの利用頻度

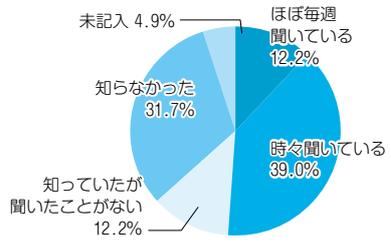


ケーブルテレビやFMラジオの多久市情報発信番組は、約半数の人が視聴しているものの、残り半数は視聴したことが無い、知らなかったと答えられています。番組の認知度アップと内容の充実を図っていく必要があることが分かりました。

■ケーブルテレビ番組「TAKU-SUNインフォメーション」視聴情報



■FMラジオの生放送番組「Hello!多久」の認知度・視聴状況



■市の広報活動へのご意見、ご要望！

- ◎市報にカタカナ言葉が多く使われている。誰でもわかるように日本語で書くか、注釈をつけてほしい。(60代 女性)
- ◎市のホームページをスマートフォンで見ると、表が非常に見にくい。(30代 女性)

などたくさんのお意見をいただきました。

問い合わせ 情報課 広報広聴係 ☎75-2280

放送大学佐賀学習センターによる 多久での「出前公開講座」を行います

十代藩主鍋島直正が拡充整備した佐賀藩弘道館は、寄宿生の数が全国随一といわれました。激動の幕末、若い志士たちに弘道館の教育方針がどう見えていたのか、弘道館教育を担った先生である多久出身の草場佩川の考えと対比的に紹介します。

- 日時 12月15日(土) 14時～16時
- 場所 東原庁舎講堂
- 定員 50人
- 参加費 無料
- 演題 佐賀藩弘道館の教育方針をめぐってー草場佩川と若者たちー
- 講師 佐賀大学地域学歴史文化研究センター講師 三ツ松 誠氏
- 申し込み 下記へご連絡ください

問い合わせ 孔子の里 ☎75-5112
放送大学佐賀学習センター ☎22-3308

佐賀県後期高齢者医療広域計画(案) パブリックコメントを実施します

佐賀県後期高齢者医療広域連合(以下広域連合)の第4次広域計画(案)への意見を募集します。この計画は広域連合および構成市町が連携を図りながら、総合かつ計画的に広域行政事務を行うための基本的な指針となるものです。今年度が第3次広域計画の最終年度となることから、第4次広域計画(案)をあらかじめ公表し、みなさんからの意見を募集します。

- 募集期間 12月3日(月)～12月26日(水)
- 計画(案)の閲覧場所 意見書様式の設置場所
- 市民生活課 保険年金係の窓口
- 広域連合のホームページおよび事務局の窓口



問い合わせ 佐賀県後期高齢者医療広域連合 ☎64-8476
市民生活課 保険年金係 ☎75-2159